

## 楽しい囲碁・・・教育・福祉・地域振興・国際交流

### ●東大、早大、慶大、京大など39大学で囲碁が正課に！

2005年に東大、2010年に早慶が囲碁を正課とし、今年は39の主要大学に拡がりました。東北大と北大以外の全ての旧帝大が採用。千代田区をはじめ全国の小中学校でも囲碁授業が増えています。

### ●「琴棋書画は君子のたしなみ」（古来中国の格言）

中国では音楽（琴）、書、絵画と共に囲碁（囲棋）が社会リーダー必須の素養でした。囲碁を通じて様々な力が身につくことが分かっていたからです。日本でも公家、武士、政治家、経済人、教育者、作家などが囲碁を愛好し、源氏物語には囲碁がひんぱんに登場します。

### ●囲碁で身につくもの

礼儀、思考力、構想力、決断力、リスクを取る力、失敗と敗北の体験、忍耐力、変化への対応力、コミュニケーション能力、向上心、優れたものを尊敬する力・・・囲碁が教育に採用されるゆえんです。

### ●社会風潮、そして立て直しの機運

敗戦後、心よりもモノ、カネの風潮が広がり、72年が過ぎました。社会、政治、経済、国際関係、人の心、人とのつながりなど、心配なことばかりです。大学や小中学校での囲碁の正課採用は、社会が自らを立て直す一歩になるものと期待されます。

### ●ユニバーサルな知的ゲーム＝囲碁

囲碁の別名は「手談」（非言語コミュニケーション）。文字や言葉を介さず人をつなぎ、世界共通ルールで国境を超え、年齢や障害の壁を超えます。教育、福祉、地域振興、国際交流に役立ち、認知症予防や脳障害リハビリ、高齢社会を支える地域づくりに力を発揮します。

### ●障害者と囲碁

アイゴ碁盤（凸状の碁盤の目に、底部に切れ目のある碁石をはめ、手で触って打つ）を使って、視覚障害者は碁を打つことができます。柿島光晴氏（全盲棋士）の努力で全国の盲学校に拡がり始めました。

私たちは2月から高次脳機能障害者への囲碁指導を始め、5月に全身性障害児の晴也君が入門しました。5月の全国・台湾盲学校囲碁大会はNHKニュースで全国、世界に放送され、実行委員長の柿島氏は第31回人間力大賞（日本青年会議所）準グランプリを受賞しました。

### ●全国盲学校囲碁大会（大船渡大会）と地方盲学校大会の開催

- ◆2017年：9/10（日）関東大会（墨田区両国）、9/23（土）甲信越大会（長野市）、10/7（土）～8（日）中国四国大会（福山市鞆の浦）、11/18（土）（予）関西大会（奈良市）、12月（予）東北大会（仙台市）／2018年2月（予）中部大会（静岡市）
- ◆2018年5/12（土）～14（月）第二回全国・台湾盲学校囲碁大会
- ◆2019年6月（予）日台韓中盲学校囲碁大会
- ◆2020年5月（予）世界障害者芸術文化祭（囲碁・音楽・アート）

### ●「囲碁の県・長野」への提言（7月7日）

長野には「アルプス囲碁村」（大町市）、江戸期最強のアマ棋士・関山仙太夫の標柱と記念碑・顕彰する会（松代町）、新布石発祥の地・地獄谷温泉、「新布石の碑」を建立された日本棋院長野県本部など優れた囲碁資源があります。次もあわせ全国初の「囲碁の県」になっていただくよう、中島副知事を通じて阿部守一知事をお願いしました。

- (1)「常設囲碁列車」：アイゴ碁盤を長野電鉄や大糸線で活用
- (2)長野県立大学と県内小中高盲学校で囲碁を正課に採用
- (3)「世界をつなぐ文化＝囲碁」を長野から世界にご発信いただく



第一回全国・台湾盲学校囲碁大会  
2017年5月14日（大船渡市）



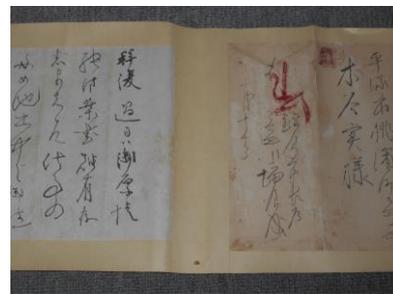
「高次脳機能障害と囲碁」の会  
2017年5月7日（大田区）



晴也君（全身性障害児）入門



新布石発祥之地碑（地獄谷温泉）  
吳清源九段書（2003年10月建立）



川端康成氏の木谷實九段あて書状  
「新布石・木谷道場ギャラリー」所蔵